

男女共同参画フェスタ ごしょがわら 2012
 ストープ列車で行く～家族旅～
 「歴史から想う十三の人々」事業報告

ストープ列車に乗って歴史を探る家族旅に参加することで、いつも一緒に居るけれどなかなか言えない感謝の気持ちや、お互いを認め合い、支え合う思いやりの気持ちを持つこと、また、発掘調査が進む五月女菴遺跡や十三湊関連遺跡の歴史を中心とした講演会で歴史を振り返り、当時の暮らしぶりを想像しながら、家族で一緒に現代の男女共同参画について考える目的で行いました。

《開催内容》

日 時	平成 24 年 2 月 19 日(日) 9:00～16:10
行 き 先	保健センター市浦、十三湊発掘調査室整理事務所、 金多豆蔵人形劇場
参加者数	26名(12組)
講 演	「よみがえる十三湖周辺の歴史 ～五月女菴遺跡・十三湊安藤氏関連遺跡の調査から」
講 師	五所川原市教育委員会 社会教育課 十三湊発掘調査室主幹 榊原 滋高
主 催	五所川原市企画課男女共同参画室
後 援	五所川原人権擁護委員協議会五所川原部会

《行程表》

受付／津軽五所川原駅＝＝＝＝津軽中里駅＝＝＝＝保健センター市浦／講演会＝＝
 9:00 9:25 10:11/10:20 10:50 11:00/12:00

ドライブイン和歌山で昼食＝＝＝＝十三湊発掘調査室整理事務所＝＝＝＝
 12:15/13:10 13:20/13:40

＝＝＝＝金多豆蔵鑑賞(津軽中里駅内)／津軽中里駅＝＝＝＝津軽五所川原駅着・終了
 14:15 15:16 16:02

雪模様の中、定刻どおりストーブ列車が出発しました。

車内販売でスルメを購入し、石炭ストーブで焼いてもらおうと、列車内がスルメのいいにおいでいっぱいになりました。

トレインアテンダントさんが乗車し、楽しいお話を聞きながら津軽中里駅まで約45分間。終始、和やかなムードで過ごしました。

説明の中には地元でありながら、初めて知ることもあり、五所川原市再発見となりました。



車内販売の方にスルメを焼いてもらっている様子

津軽中里駅でストーブ列車を降り、バスに乗り換えて30分程で講演会会場の保健センター市浦に到着しました。

五所川原市総務部企画課男女共同参画室次長の挨拶と五所川原人権擁護委員協議会五所川原部会会長の挨拶の後、榊原さんの講演会となりました。

五所川原市市浦地区の五月女范遺跡の説明が主でしたが、当時住んでいた人々の暮らしぶりを知ることができました。また、発掘し、出土したものから、地元の歴史

史を知ることができる貴重な財産がたくさんあることに驚きました。



保健センター市浦での榊原さんの講演の様子

お昼をはさんで、講演をしてもらった榊原さんの説明を聞きながら、十三湊発掘調査室整理事務所を見学しました。

冬期間は、発掘調査ができないため、夏場に出土したものの整理作業をここで行っているそうです。

出土したものの種類や、数の多さに驚くとともに、作業の大変さを感じました。土器などを、間近に見ることができ貴重な経験となりました。



十三湊発掘調査室整理事務所での榊原さんの説明の様子

バスに乗って再び市浦地区から津軽中里駅へ行き、中里駅内で金多豆蔵人形劇を鑑賞しました。

金多豆蔵は、地元で伝わる人形劇ですが、金多豆蔵と書いて「きんたまめじょ」と読むことや、金多豆蔵の名前は、人は、「豆」々しく、健康で働けば、お「金」が「多」く入り、「蔵」が建つという意味であることを教えていただき

ました。
津軽のユーモアにあふれ、笑いたっぷりの楽しい時間でした。



金多豆蔵人形劇鑑賞後の写真撮影の様子

帰りのストーブ列車でもトレインアテンダントさんが乗車してくれました。

元気なトレインアテンダントさんと楽しい時間を過ごし、帰宅の途に就きました。



トレインアテンダントさんの説明の様子

☆アンケート結果(一部抜粋)☆

○ストーブ列車で感じたことについて。

- ・和やかな雰囲気で見知らぬ人とスルメを食べながらおしゃべりし楽しかった。
- ・アテンダントのお話が楽しい。スルメのいいにおい。
- ・石炭の火力の強さにビックリした。
- ・外の景色がとってもよかった。なつかしかった。
- ・スルメ焼きがよかった。
- ・文字通りの暖かさと人情を乗せて走る素晴らしい列車だとあらためて感じました。

○講演を聞いて、感じたことについて。

- ・縄文土器に触れて感激。大がかりな発掘調査が行われているのをはじめて知りました。愛知出身の榊原さんががんばってください。
- ・遺跡が177ヶ所もあることにびっくりでした。また、発掘物の多さにも。
- ・今後の調査結果に期待いたします。
- ・講師の方の熱心な心が伝わり感動した。
- ・3,000年前の人々の暮らしが今も続いている気がした。
- ・時間が不足だった。
- ・十三湊や縄文・北方文化など「奥津軽」地域はアジアとの歴史的な結節点だと再認識しました。

○フェスタ全体に対するご意見・ご感想。

- ・地域の資源を利用しながら男女共同参画について考えるのもいいですね。
- ・五所川原(周辺)全域の文化的ポイントを一日で紹介いただいてありがとうございました。
- ・全体的にまとまってよいと思います。昼食のしじみ汁もおいしかった。
- ・よい体験でした。また参加したいです。家族で参加できてよかった。
- ・行政と温度差あり。これを利用し意見交換し温度差をなくされたい。このような企画を多くやってほしい。
- ・また参加したいです。
- ・昼食代千円は高い。スタッフの話が楽しかった。

2月の寒い日でしたが、12組のご家族の参加がありました。今回の家族旅の参加を通して、ご家族で改めて感謝や思いやりの気持ちを持って過ごせたのではないかと思います。

また、講演や発掘物の見学を通して、五月女范遺跡、十三湊遺跡などの十三湖周辺の歴史に触れることにより、当時の人々と現代の人々の生活の違いについて男女共同参画の視点からも考えられたのではないのでしょうか。

今回の「男女共同参画フェスタ ごしょがわら 2012」では「男女共同参画」という言葉を難しく考えるのではなく、日々の生活の中で、お互いに感謝や思いやりの気持ちを持って接し、その積み重ねが男女共同参画になるということを、今一度考え直す良い機会となったと思います。小さな取組の積み重ねが、男女共同参画社会の実現へつながっていくことを願っています。

